所属	看護医療学部 臨床検査学科	職位	准教授	氏名(学位)	杉浦　諭　（ 博士(医学) ）
所属学会	日本輸血・細胞治療学会、生物試料分析科学会、日本臨床衛生検査技師会、三重県臨床検査技師会				
専門領域	実験病理学、解剖組織学、輸血学				
研究テーマ	発がん予防効果のある天然物質の検索および作用機序の解明 化学物質による発がん機序の解明				

Ⅰ　主な教育活動

教育実践上の主な実績

1　教育･内容の工夫（授業評価等を含む）	担当科目に関する知識を教授することはもとより、これまで経験した多様な職業経験を生かして、チーム医療の一端を担うことができる総合力に優れた臨床検査技師を育成することを意識して講義や実習に臨んでいる。臨床検査技師国家試験に準拠した講義、および資料作成を心掛け、ま ICT を活用した教育も実践している。
2　作成した教科書、教材、参考書	担当科目において教科書に準じた配布資料や国家試験対策資料等を作成。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等	四日市看護医療大学 令和年 3 度 第 1 回 FD 研修会にて『Office365「Forms」を活用した小テスト』という演題にて情報共有を行った。
4　その他教育上特記すべき事項	東海医療科学専門学校 臨床工学科 非常勤講師（解剖生理学）2021 年 9 月～

Ⅱ　主な研究活動

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
著書	Carcinogenesis and Modification of Carcinogenesis	共著	2005 年 7 月	Research Signpost	Tanaka T., Tsuda H., Ogawa K., Sugiura S.	235 ～266 頁
学術論文	Reversibility of proliferative lesions and induction of non-papillary tumors in rat urinary bladder treated with phenylethyl isothiocyanate	共著	2003 年 3 月	Oxford University Press Carcinogenesis (Vol.24 No.3)	Sugiura S., Ogawa K., Hirose M., Shirai T.	547 ～553 頁
学術論文	Harman and Norharman suppressed but $NaNO_2$ enhanced the development of preneoplastic liver cell foci in 2-amino-3,8-dimethylimidazo [4,5-*f*] quinoxaline (MeIQx) - treated rats	共著	2005 年 8 月	JSTP Jpn. J. Toxicol. Pathol. (Vol.18 No.2)	Sugiura S., Asamoto M., Hokaiwado N., Shirai T.	99 ～104 頁
学術論文	Identification and phylogenetic analysis of hepatitis C virus in forensic blood samples obtained from injecting drug users	共著	2007 年 5 月	Elsevier Forensic Sci Int. (Vol.168 No.1)	Kato H., Maeno Y., Sugiura S., M., Nagao M.	27 ～33 頁

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文	Susceptibility of p27^{kip1} knockout mice to urinary bladder carcinogenesis induced by *N*-buthyl-*N*-(4-hydroxybuthyl) nitrosoamine may not simply be due to enhanced proliferation	共著	2008 年 4 月	Wiley-Blackwell Int. J. Cancer (Vol.122 No.6)	Hikosaka A., Ogawa K., Sugiura S., Shirai T.	1222 ～ 1228 頁
学術論文	Suppression of prostate cancer in a transgenic rat model via gamma-tocopherol activation of caspase signaling	共著	2009 年 5 月	Wiley-Liss The Prostate (Vol.69 No.6)	Takahashi S., Takeshita K., Sugiura S., Shirai T.	644 ～ 651 頁
学術論文	Organ differences in the impact of p27^{kip1} deficiency on carcinogenesis induced by *N*-methyl-*N*-nitrosourea	共著	2013 年 6 月	John Wiley & Sons J. Appl. Toxicol (Vol.33 No.6)	Ogawa K., Murasaki T., Sugiura S., Shirai T.	471 ～ 479 頁
その他	臨床検査の分子生物学 連載　第１回 染色体検査（FISH 法など）	共著	2009 年 3 月	先端医学社 分子消化器病 (Vol.6 No.1)	滝野　寿，中山崇久，杉浦　諭，稲垣　宏	64 ～68 頁
その他	臨床医家の研究 2016/2017 シーズンの一クリニックにおけるインフルエンザの動向と考察	共著	2018 年 11 月	メディカルレビュー社 インフルエンザ (Vol.19 No.2)	芝尾敬吾，溝口玲子，杉浦　諭，柏木征三郎	37 ～41 頁
その他	生物試料分析に関する新技術の紹介と COVID-19 の最新情報(序文)	単著	2022 年 12 月	生物試料分析科学会 生物試料分析 (Vol.45 No.5)	杉浦　諭	209 ～ 210 頁

Ⅲ　主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
Susceptibility of p27^{kip1} knockout mice on N-butyl-N-(4-hydroxybutyl) nitrosamine -induced urinary bladder carcinogenesis	共同	2005 年 3 月	44th Annual Meeting of the Society of Toxicology (New Orleans)
Phenylethyl isothiocyanate (PEITC)によるマウス膀胱発癌に対する促進作用	共同	2006 年 6 月	第 12 回日本食品化学会総会・学術大会（名古屋市）

Ⅳ　社会における主な活動

活動期間	活動内容等
1991 年 4 月 ～ 1997 年 3 月	体外診断用医薬品メーカー　生化学領域担当学術
1997 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	名古屋市立大学医学部/大学院医学研究科　技術職員（臨床検査技師）
1997 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	名古屋市立大学大学院医学研究科 実験病態病理学　研究員
2009 年 4 月 ～ 2015 年 10 月	体外診断用医薬品メーカー　DMR
2015 年 11 月 ～ 2020 年 3 月	体外診断用医薬品メーカー　感染症領域担当学術
2022 年 3 月	第 31・32 回 生物試料分析科学会合同年次学術集会　実行委員
2024 年 2 月	市立輪島病院検査室での人的支援(日本臨床衛生検査技師会より派遣)
2025 年 3 月	第 35 回 生物試料分析科学年次学術集会　実行委員